



撮影/富本真之

# 内館 牧子 講演会

## プロフィール

現職 脚本家  
ノースアジア大学 教育諮問委員  
ノースアジア大学 総合研究センター 客員教授

履歴 武蔵野美術大学 卒業  
東北大学大学院 文学研究科修了  
NHK大河ドラマ「毛利元就」・NHK連続テレビ小説「ひらり」・東北放送ドラマスペシャル「小さな神たちの祭り」他多数のテレビドラマの脚本を手掛ける。

## 「年寄りが嫌われる理由 — 新刊小説『老害の人』(講談社)から —」

開講日時 ▶ 3月25日(土) 午後1時00分～2時30分(開場 午後12時30分)  
会場 ▶ ノースアジア大学 40周年記念館 2階 271教場

### 講演内容

年寄り、つまり高齢者は今日まで一生懸命に、無我夢中で生きてきた。第二次世界大戦も戦後の混乱も、彼らにとっては「歴史」ではない。実体験なのだ。食べる物もろくにない時代、子供に食べさせて自分は食わず、過酷な労働に身を削ってきた。

なのに今、年寄りは「化石」だの「老害」だの「うっとおしい」「昔話ばかり」「離れていたい」だのと言われることが、少なくはないのではないか。ここには、年寄りと若い人の双方に問題が考えられる。

私はそれを小説にした。タイトルは「老害の人」。書きながら私自身も反省し、考えさせられることが多かった。

厳しくつらい過去を乗り越えてきた年寄りと、今を生きる若い人たち。その本音を明かしながら、互いにどう生きればいいのかを考えたい。